

平成21年度助成状況

●平成21年度医学教育研究助成金

受賞者	助成金額
魏 范研氏 熊本大学大学院医学薬学研究所 分子生理学分野 助教	150,000円
柿添 豊氏 熊本大学大学院医学教育部 博士課程4年	150,000円
異島 優氏 熊本大学薬学部 医薬高分子学寄附講座 特任助教	150,000円
小川 幸恵氏 熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科 助教	150,000円

●平成21年度医学国際交流助成金 (外国人留学生奨学金)

受賞者	助成金額
蔣 青(ジャン チン)氏 熊本大学大学院医学教育部 博士課程4年(中国)	150,000円
張 三兵(ザン サンビン)氏 熊本大学大学院医学教育部 博士課程4年(中国)	150,000円
呉 英先(オ ヨンソン)氏 熊本大学大学院薬学教育部 博士後期課程2年(大韓民国)	150,000円

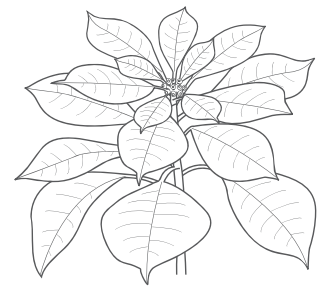
●平成21年度医学研究会・研修会助成金

助成対象事業	開催期間	助成分野(申請者)等	助成金額
第11回人体解剖学実習セミナー・熊本	8月17日～28日	熊本大学大学院医学薬学研究所 形態構築学分野 川井克司准教授	100,000円
熊大病院群卒後研修プログラム 研修医育成	9月1日～3月31日	熊本大学医学部附属病院 総合臨床研修センター長 片瀨秀隆教授	200,000円
本九祭(医学展)	10月31日～11月1日	実行委員長 熊本大学医学部医学科3年 島田秀一	150,000円
薬学展	11月3日	実行委員長 熊本大学薬学部3年 山本修平	50,000円
第10回熊本大学医学部医学科 医学教育ワークショップ	12月26日	熊本大学医学部医学科長 竹屋元裕教授	96,000円

●平成21年度医学国際交流助成金

助成対象事業	開催期間	助成分野(申請者)等	助成金額
第25回熊本医学・生物科学 国際シンポジウム	11月13日	熊本大学大学院医学薬学研究所 病態生化学分野 山縣和也教授(代表) 熊本大学大学院医学薬学研究所 分子生理学分野 富澤一仁教授	700,000円

最後になりましたが、この医学教育FDワークショップの開催に際して、活動の意義を高く評価して戴き、種々のご支援を戴きました肥後医育振興会に厚く感謝申し上げます。
熊本大学医学部医学科長 竹屋 元裕



平成二十二年度「肥後医育塾」年間テーマ「がん向き合う」を開催

平成二十二年度「肥後医育塾」年間テーマ「がん向き合う」を開催

県民一人ひとりが豊かで健康的な生活を送れることを目指して、(公財)肥後医育振興会、(財)化学及血清療法研究所および熊本日日新聞社の主催で、平成二十二年度も市民公開セミナー「肥後医育塾」を開催することになりました。「がん向き合う」を年間テーマとしました。
今や、日本人の三人に一人が「がん」が原因で亡くなり、二人に一人が人生において何らかの「がん」を罹患すると言われていきます。さまざまな「がん」について、基礎知識や最新の治療法を学ぶとともに、予防するためには、もしくは罹患してしまったらどのように向き合っていくのかについても考えます。
今期のセミナーでは、脳および頭頸部のがん、呼吸器系のがん、消化器系のがんについて考えます。このテーマの下に、三回の公開セミナー(第四〇回から第四二回)を行う予定にしております。総合司会は遠藤文夫肥後医育振興会常任理事(熊本大学大学院生命科学研究所教授)がつとめることになっております。
このうち、第四〇回は七月十日(土)に熊本テルサで開催いたしました。テーマは「脳と頭頸部のがんを考える」といって、口の中にできるがんや脳腫瘍の諸症状、治療法などについて専門医三名から詳しくお話を伺いました。講演では山本哲郎先生(肥後医育振興会常任理事、熊本大学大学院生命科学研部分

子病理学分野教授)に座長をお願いいたしました。
まず最初に川端一嘉先生(癌研究会有病病院頭頸科部長)から「耳鼻科のがんについて」話せなくなる、食べられなくなる、容貌が変わる…その前に」と題して、頭頸部のがんでは、口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、甲状腺がんが多いこと、診断には細胞診や組織検査などの病理検査、さらにCTやMRI、超音波(エコー)、PET-CTなどの画像診断が行われているとの説明があり、それぞれのがんの症状について画像で紹介された後、治療法として、放射線治療、手術、抗がん剤による化学療法の三つが主で、それらを患者さんごとに最適に組み合わせた治療法が選ばれているとの説明がありました。また、治療の基本的考え方として、がんに対し、その部位に関連する領域の医師が協力して、より良い治療を行うっていくこと、治療後のQOL(生活の質)を重視しているのが最近の傾向であり、がんを治すだけでなく、治療後の後遺症をできるだけ減らす方針で治療が行われているとの説明もありました。

次に、熊本大学大学院生命科学研究所 顎口腔病態学分野教授の篠原正徳先生に「舌がん、下顎歯肉がんの症状と治療法について」という演題でご講演をいただきました。口の中にできるがんを「口腔がん」と総称しますが、発生場所によって、舌にできるがんを舌がん、舌と歯ぐきの間にできるがんを口底がん、歯ぐきのがんを歯肉がん、ほおの内側の粘膜にできるがんを頬粘膜がん、口内の上部にできるがんを硬口蓋がんと言いますが、